



葉山町

議会だより

発行 葉山町議会 神奈川県三浦郡葉山町堀内2135番地 046-876-1111
編集 議会広報特別委員会 発行日 平成22年5月1日

No.

100

第1回（3月）定例会

- 第1回定例会関連記事…………… 2～11ページ
- 委員会レポート…………… 11～13ページ
- 一般質問(10人登壇)…………… 14～18ページ



再提出の平成22年度予算可決 総額168億1,929万5千円



一般会計当初予算

90億9千万円

第1回定例会を2月19日から3月24日まで開会しました。平成21年度補正予算6件を審議し可決したのち、森町長の施政方針演説があり、平成22年度一般会計と国民健康保険・後期高齢者医療・老人保健医療・介護保険・下水道事業の特別会計の議案が提出されました。

8人の議員が、予算案に対し総括質問を行いました。その後、予算特別委員会において、山梨崇仁委員長のもと慎重に審査を行い、一部修正可決されたものが本会議に報告されました。

しかし、本会議では同委員会可決の修正案を含め一般会計予算を否決、3月23日に総額を変更せずに内容を見直した再提出の同予算を可決しました。

他に多数の議案を審議し、一般質問は10人の議員が当面する行政の課題をたえました。

議 会 活 動 日 誌

今回は、第4回定例会終了以降、第1回定例会終了までの活動報告をいたします。

21日	12月	26日	3月
22日	総務建設常任委員会	1日	本会議（定例会）
24日	教育民生常任委員会	2日	予算特別委員会
7日	1月	3日	議会運営委員会
8日	議員定数及び報酬等検討特別委員会	4日	予算特別委員会
15日	議会運営委員会	5日	予算特別委員会
19日	広報特別委員会	8日	予算特別委員会
21日	山形県東置賜郡高島町議会視察来庁	9日	ごみ問題特別委員会
23日	総務建設常任委員会	10日	総務建設常任委員会
2日	2月	11日	議会運営委員会
5日	教育民生常任委員会	12日	教育民生常任委員会
9日	議員定数及び報酬等検討特別委員会	17日	議会運営委員会
12日	議員懇談会	18日	予算特別委員会
19日	全員協議会	19日	等検討特別委員会
	総務建設常任委員会	23日	議員定数及び報酬
	議会運営委員会	24日	予算特別委員会
	広報特別委員会		議会運営委員会



2月26日・3月1日、
22年度予算に対し総
括質問を8人の議員
が行いました。

予算審議総括質問

こんな点が気がり

質問者の提出原稿を基に編集しています

守屋 巨弘

(いきいき葉山の会)

問 平成22年度の町長の重点施策、その優先順位等について。

町長 すでに平成22年度当初予算案の概要で示したとおり、1つ目に子育てと魅力ある教育環境の施策、2つ目に環境保全対策、3つ目に防災安全対策、そして行政改革と、この4項目を重点的取組みに位置づけした。中でも教育・子育て環境の充実を図るため、町立保育園の定員数を90人から100人へ10人増員し、待機児童の解消に努める。

問 平成20年度決算での経常収支比率は99・8%で、県下では南足柄市の99・9%に次いでワースト2だったが、同比率の平成21年度実績推定値並びに同22年度の見通しについて。

町長 平成20年度に引き続き21年度及び22年度も歳入の根幹をなす町税収入が落ち込む予想で、さらに厳しい数値になるものと予測される。

佐野 司郎

(尚政会)

問 町債への基本的考え方は。

町長 現在残高をこれ以上増やさないので基本だ。

問 来年度は町民を交えた事業仕分けをするとか対外的に発言しているが。

町長 具体的な構想はまだ何もない。

問 町民の納税意欲は基本として行政への信頼と期待が一番だと思うが。

町長 日々意識しながら行動している。

問 ゴミ処理事業について、町民の中に処理経費も含めて、不安、不満疑問があるようだが。

生活環境部長 ごみ処理基本計画を5月の始めにパブコメにかける。

問 行政改革はトップの姿勢と覚悟あってこそだといわれているが。

町長 日夜その方向で努力している。

問 下水道事業は。

町長 23年にかけて、下水道審議会を開催し、全体計画を見直し、住民との懇談も行う。

山梨 崇仁

(民主はやま)

問 町の信頼度を活かして葉山町漁協や農協の観光施策を訴えていくことが力になるのではないかと。

町長 協働で事業をPRしていくためにやれるだけのことは極力やりたい。

問 港湾管理がなくなるが、「くるる」や「しよみんばた」を盛り上げていくつもりがあるのか。

都市経済部長 観光協会が考えている。

問 ごみ処理にかかる3億円の人件費に付加価値をつけて、有効に活用させるべきでは。

生活環境部長 部署異動などを検討し、職責等は課題としたい。

問 人々に不信感が募っているのか。例えば、来

るか来ないか分からないし、予算も通っていないのに成人式の場合、「青山テルマが来ます」と言うことなどだが。

町長 一方的に先方のプロダクションに切られた。成人式では、来ますよという話をしたこと。

金崎 ひさ

(新葉クラブ)

問 22年度末の、ごみの減量化目標数値は。

生活環境部長 ない。

問 清掃費の削減目標は。

町長 減量化を進めることが経費削減に結びつく。

問 教育・子育て環境の充実のための予算配分は。

町長 上小及び南郷中の耐震補強工事。町立保育園の定員を10人増員。

問 南郷上ノ山公園テニスコート無休化について。

町長 町民サービスの充実のため予算化した。葉山港に関しては2年前に打つべき手があったのではないかと。

問 人件費は32・6%の構成比であるが、職員数の削減目標は。

町長 総額で考える。

問 時間外手当と休日勤務削減のため、自由勤務時間制の導入は。

総務部長 対応していない。

問 下水道審議会への諮問内容は。

町長 私の基本的な考え方を示していく。



森 勝美

(蒼生会)

問 納税者数は微増だが町税の減収要因と対策は。

町長 40代50代が増だが高額所得者の大量退職の影響。滞納整理に取り組み徴収額の確保に努める。

問 保育園定員拡大で保育士の充足率は。

保健福祉部長 保育士9人、臨時1人、非常勤2人、アルバイトで対応。

問 待機児童対策に担当

組織を設けると県議会で知事が述べているが、当町にとつてのメリットは。

保健福祉部長 待機児童は41人いる。解決に向けて県と研究する。

問 ごみ減量化モデル地区の排出量は極めて少ない。受益と負担の考えから、地域環境税の考え方で早期に取り組めないか。

生活環境部長 ゼロ・ウェイスト推進が23年度からで前倒しは無理。

問 国民健康保険料の未

済額の回収計画は。保健福祉部長 差押え予告を7件出しており、効果をあげている。

阿部 勝雄

(日本共産党)

問 臨時財政対策債とは。

町長 普通交付税の振替で地方公共団体が発行し、資産の残らない地方債だ。

問 返済方法は。

町長 元利償還金相当額を交付税対象となる基準財政需要額に算入される。

問 守屋町長は限度額100%の発行、何故森町長になつて85%か。

町長 地方債現在高を増やさない考えた。

問 どこが返済するのか。

総務部長 交付税で返済されるが、基本的には借りた自治体が返す。

問 22年度は交付税が交付される。国の返済では。

総務部長 葉山は交付、不交付があり、結局は町が返すことではないか。

問 国保料見直し請願が

全会一致で採択された。保険料が逗子より約2万円も高い。格差是正は。

町長 議会意思を重く受けとめ、財政が厳しく繰入れは難しいが、格差は広がらないようにする。

畑中由喜子

(いきいき葉山の会)

問 22年度予算では12億円の収支不足見込みとの

報道が不安を与えたが、歳入増に向けた政策は。

町長 町税等の徴収率を上げ、町有地の有効活用を図る。また、ブランドの開発など商業や農業の活性化は将来的に歳入増につながると思う。

問 国からの地域活性化臨時交付金で浮いた予算はどこに活かされるのか。

町長 教育費で傷んだ机と椅子を新しくできる。

問 北海道ニセコ町では予算方針やヒアリングを公開で行っている。住民に納得のいく予算編成方式が望ましいと思うが。

町長 住民のご理解を得

るため、予算編成の段階で公開していく方式、方法を研究したい。

問 総合計画基本計画は議会基本条例で議決が必要となった。議会にこまめに情報発信して欲しい。

総務部長 そのように対応していきたい。

近藤 昇一

(日本共産党)

問 予算査定の全てを公開の場で行うべきでは。

町長 研究が必要だ。

問 町長は議会で小児医療費助成について「21年度当初予算の計上の中には、対象年齢を引き上げて提出したい」と述べているが、22年度も実施されていないが。

町長 保育所の待機児童解消を優先した。

問 保育園待機児童の解消方策は。

町長 葉山保育園の定員を10名増員する予定だが、22年度も待機児童は約40名となる。解消の方策として、民間保育所と協議

中。明確になった段階で必要な予算措置を講じる。

問 リフォーム資金助成制度の利用件数が伸びなかったが、金額の増額とPRの徹底が必要では。

都市経済部長 その方向で考えていきたい。

問 特別養護老人ホーム待機者14人への対応は。

町長 解消に努力したい。

表彰

全国町村議会議長会より、近藤昇一、笠原俊一両議員が「自治功労者表彰」を受けました。おめでとうございます。



保育園の風景



笠原俊一議員



近藤昇一議員

予算特別委員会の審査報告

3月2日から12日までの間に、現地踏査を含め関係部課長等の説明及び資料の提出を求め、細部にわたり審査を行いました。審査最終日には、町長・教育長に対して、13項目の質問を行い、委員会の意思を決定いたしました。

町長質問事項

- 1 人件費の総枠抑制に対する考え方について
- 2 これまでの成果・評価を踏まえた今後の国際交流事業のあり方について
- 3 防災・消防・水難に係る体制の充実について
- 4 自治基本条例策定の意義、策定の方法、工程等に対する考え方について
- 5 公共下水道審議会に諮る内容と合併処理

浄化槽や汚水処理施設の今後の方針について

6

ごみ削減の量的目標や処理費用及び処理施設に係る計画について

7

姉妹都市宿泊助成を、町長査定で復活させた経緯について

8

国民健康保険料軽減に向けた施策の展開について

9

文化公演事業のあり方について

10

公共施設の休日開放施策の進め方について

11

協働推進事業内容の町広報での発信を充実させる考えについて

12

児童館・青少年会館の非常勤職員からアルバイト員への変更について

質疑

町長公約にもある人件費の総枠抑制に対してどのように考えているか。

町長

行財政改革の視点から、人件費も聖域ではないとの考えのもと、職員数のことや仕事量のこ

教育長質問事項

- 1 ハード・ソフトの両面を含めた図書館の将来計画について

質疑

町長公約にもある人件費の総枠抑制に対してどのように考えているか。

町長

行財政改革の視点から、人件費も聖域ではないとの考えのもと、職員数のことや仕事量のこ

と、職員のモチベーションなど、様々な観点に配慮した。今後は総枠を設定し、それに向けて削減策や抑制策の手法を検討していく。

町長

非常勤職員なども含めた、総職員数との関連について示して欲しいが。

町長

新規採用をしないので総数を減らしていくことが必要だと考える。

町長

職員の年代層の空洞化などデメリットは。

町長

正規職員以外の補充を行い対応したい。不採用の格差は長く続けない。

町長

国の指針6%を上回って10%払っている地域手当見直しについては。

町長

段階的に引き下げていく方向は出している。

町長 正規職員以外の補充を行い対応したい。不採用の格差は長く続けない。

町長

国の指針6%を上回って10%払っている地域手当見直しについては。

町長

段階的に引き下げていく方向は出している。

町長

国際交流事業の必要性に関しての認識は。

町長

色々な言語圏との交流など続けていきたいが、ホールドアファストベ

市との交流事業は、1年間かけて方策を考えたい。

町長

防災体制の強化を図るため、町長直轄の危機管理室など設置すべきだ。

町長

地球レベルでの危機管理の重要性は増している」と認識している。直轄も含め対応を図りたい。

町長

水難救助用のボート購入に際して、更なる消防体制の強化や人員の配置を考えるべきと思うが。

町長

実際に動けないという最悪の事態を避けるため、人事体制、救難体制はしっかりと構築する。

町長

消防体制の国の基準

と現在の状況把握は

町長 国の基準の約半分で人員のやりくりは大変だ。水難救助隊の編成など含めて、根本的な見直しの検討が必要である。

町長

自治基本条例の策定意義に関する認識は。

町長

住民自治実現のための条例として、町民・町・職員等の役割や責務等を規定するものである。

町長

公募による検討委員会の位置づけは。

町長

私的諮問機関とするか最終決定していない。

町長

2年間という年限を切って取り組む課題ではない。住民からの盛り上がりが必要であるが。

町長

町民との協働作業を基本とし、繰り返し作業を行い、所要所で広報等も使いながら町民に進捗状況を伝えていき、盛り上がりを持つて纏めたい。

町長

公共下水道審議会にどういった方針を諮問するのか。

町長

平成23年度末までの事業認可の変更。市街

化調整区域のうち、下水道全体計画区域の処理手法。3団地の大型合併処理浄化槽の公共下水道への接続に関する件を諮る予定。

町長

かつて作成した公共下水道の見直し内容の提言からすれば、何も下水道審議会に諮問することなくそれを進めれば良いが。

町長

事業認可区域350鈐が全部年限までに終わらない予想なので、期間の延長なども諮問しなければならぬ。3団地のコミプラ（大型合併処理浄化槽）も先々経年劣化などで公共下水道に結ぶこともあるので諮問することとは問題ない。実質的に



図書館の将来計画は



無休化への第一歩?

汚れている地域を優先して整備するもので、すぐに接続するとは明言していない。

問 合併処理浄化槽補助金制度の見直しは、町長の方針に反しているのでは。

町長 市町村設置型を中心に普及を早めていく。

問 一般廃棄物処理基本計画の中に、ごみ削減の数値目標や処理費用、ごみ処理施設の維持管理経費の推移などを盛り込んで出して欲しいが。

町長 今発表に向けて数値等の準備をしている。

問 平成26年の半減目標が達成できない時、古い焼却炉を使い続けるのか。

町長 半減化してもまだ燃やす必要があるので、以降も延命化を図っていく。

問 ごみ量が減っても、県下一高いごみ処理費用が減らない政策を、町民は望んでいない。町民に努力を課すのなら、削減を教育や福祉に回すのが責務だ。

町長 収集方法やごみ袋の有料化とか、あらゆる努力で削減に拍車をかけて改善に邁進したい。

問 姉妹都市宿泊助成が町長査定で復活されたが、21年度予算で増額修正した議会意思の受け止めは。

町長 交流の意義を主張されていたので、その趣旨を今年度も生かした。

問 請願採択を踏まえ、一般会計からの繰り入れに対して、本年度予算での軽減が図られていないが。

町長 議会意思は重く受け止めている。生活圏が同じ逗子市の状況等も考慮し、財政状況を総合的に判断する中で、必要に応じ繰り入れを考え、継続できるのか。

問 文化公演事業を休止とした経緯の説明を。

町長 福祉文化会館全体の運営、経営を考え直す時期にきているので、自事業である3公演事業を一時休止し、新たな事業展開を図っていきたい。

問 公共施設の休日開放に関して、本年度は南郷上ノ山公園テニスコートで試行するが、その根拠などについて不明瞭だが。

町長 テニスコートはコースが高く、町民サービスの拡充につながるので、まずターゲットにした。

問 これからも公共施設で開放できるものには、積極的に取り組む第一歩としてテニスコートなのか。

町長 そのとおりだ。できるところから取り組む。

問 町の広報費用が削減されている中、例えばまちづくり協会が発行してきた「くれ竹通信」を存続できるのか。

町長 各団体等の活動状況をホームページや広報に掲載していく。広報紙については随時紙面の状況を考慮し発信していきたい。広報活動について一緒に研究をする。

問 児童館の運営をアルバイト職員だけで人数を揃えれば良いというものではない。経費削減だけが先走っている。責任を持つ人を必ず置くべきだ。

町長 子どもたちの安全を第一に考え、雇用形態の違いに関係なく責任を持つて運営に当たっている。子ども育成課との調整を親密にして対応する。削減効果は700万円となる。

問 ハード・ソフトの両面から、図書館の将来の整備計画について伺う。

教育長 ハード面では耐震上は問題ないが、築30年目になり必要に応じて修理していく。将来的には様々な工夫が必要である。ソフト面では、開館時間の適正化の一環として人

件費や管理運営費の問題を検討する。図書館長が将来のプランを持っているので、それを活かすなども含め考えていきたい。

以上、審査の結果「一般会計予算」「国民健康保険特別会計予算」及び「下水道事業特別会計予算」について、阿部勝雄委員から組み換え動議が提出されましたが、賛成少数で否決されました。

また、伊東圭介委員はか3人の連名で「一般会計予算」に対する修正案が提出されました。清掃費の中の塵芥処理費を削減し、予備費に上乗せする内容の説明後、質疑を行い採決したところ、賛成多数で可決され、引き続き修正可決部分を除く原案についても賛成多数で可決されました。

続いて特別会計予算の採決を行い、「国民健康保険特別会計予算」「介護保険特別会計予算」「下水道事業特別会計予算」の3

件については賛成多数により、また、「後期高齢者医療特別会計」「老人保健医療特別会計」の2件については全会一致により、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決しました。

要望

1 自殺対策計画の早急な策定を望む。

2 中期の人員費及び職員数の見通しを早急に示すことを望む。

指摘

1 町政功労者表彰については、選考委員会を設置し、被表彰者を決定すべきである。

意見

1 税・料の滞納徴収額の目標は、もう少し高めに設定し、滞納の削減について更に努力すべきである。

平成22年度の予算審議結果

一般会計予算に関する審議結果について（概説）

予算特別委員会

新年度予算を集中審査するため設置した予算特別委員会では、町長から提案の一般会計予算ほか5特別会計予算に対して、委員から「一般会計予算、国民健康保険特別会計予算及び下水道事業特別会計予算について組替えを求める動議」と「一般会計予算に対する修正案」が提出され、併せて審査を行いました。採決の結果、「組替えを求める動議」については賛成少数で否決。「一般会計予算に対する修正案」については賛成多数で可決し、5特別会計予算については原案のとおり可決しました。

本 会 議

本会議では、予算特別委員会に提出された組替え動議とは異なる新たな予算の組替えを求める動議が2件提出されました。採決は、まず、組替えを求める動議2件を諮った後、予算特別委員会でも可決された一般会計予算修正案を諮りました。

結果は、「一般会計予算等の組替えを求める動議」は賛成少数で否決し、「一般会計予算及び国民健康保険特別会計の組替えを求める動議」及び「予算特別委員会修正案」はそれぞれ賛成8人、反対8人の同数となり、議長がともに否決と裁決しました。

この結果を踏まえ、町長提案の一般会計予算案について採決しましたが、賛成少数で否決しました。

このような複雑な審議の過程や採決の結果を経て、最終的には冒頭2ページの見出しにあるように、あらためて町長から提出された、歳入歳出予算の総額は変更せず内容の一部を見直した一般会計予算を原案のとおり全会一致で可決しました。

見直しされて提案のあった予算は、議員が総じて主張した「一般廃棄物処理経費の抑制」や「子育て施策の水準維持・拡充」を考慮したものでした。

なお、特別会計予算については、老人保健医療特別会計予算は全会一致で、その他の特別会計予算は賛成多数で原案のとおり可決しました。

本会議で、2件の組替え動議又は修正案のいずれかに、すべての議員が賛成したということは、この時点で議員全員が一般会計予算原案に対し反対の意思表示をしたということを意味します。

これは、極めて異例なことです。昨年度（平成21年度）一般会計予算でも、予算特別委員会でも可決された修正案を、本会議においても可決しました。

予算編成に当たり、ますます町民や議会の声に耳を傾ける必要があるといえます。

議会広報特別委員会委員長 守屋亘弘

※表決結果は8～9ページをご覧ください。

表 決 結 果

[illegible]

	議員名（議席順）	煙中由喜子	近藤昇一	阿部勝雄	土佐洋子	山梨崇仁	伊東圭介	鈴木知一	佐野司郎	守屋巨弘	森勝美	伊藤友子	待寺真司	金崎ひさ	笠原俊一	加藤清	中村常光	鈴木道子	結 果
	議案・請願・陳情																		
議案	工事委託協定の変更について（葉山浄化センター建設工事）	×	× 討論	×	× 討論	×	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	否決
議案	財産の取得について（デジタルテレビ 42型）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案	財産の取得について（パーソナルコンピュータ）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案	町道の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案	和解することについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案	葉山町議会議員定数条例の一部を改正する条例（定数3人減） （議員提案）	×	× 討論	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	◎	○	可決
議案	葉山町議会議員定数条例の一部を改正する条例（定数1人減） （議員提案）	-	× 討論	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	◎	-	議決不要
議案	葉山町議会委員会条例の一部を改正する条例 （委員会提案）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案	平成21年度葉山町一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案	平成21年度葉山町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案	職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案	葉山町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 （委員会提案）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案	平成22年度葉山町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案	葉山町議会の議員の報酬の特例に関する条例 （議員提案）	○	×	×	○	◎	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	否決
請願	葉山町議会議員の定数削減を求める請願	×	× 討論	×	×	× 討論	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	採択
請願	ごみ処理広域化を葉山町として直ちに実施することを求める請願書	×	×	× 討論	×	× 討論	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	不採択
請願	国民健康保険料の見直しを求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情	2市1町ごみ処理広域化と自区内処理の事業計画との比較を早急に町民に説明することを求める陳情書	×	×	× 討論	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	採択
陳情	重度障害者医療費助成制度の充実を求める陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	趣旨了承
陳情	「芝崎の防波堤強化」に関する陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	趣旨了承
陳情	新型インフルエンザ対策ならびに助成等の支援に関する陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	趣旨了承
陳情	平成22年度における重度障害者医療費助成制度継続の陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	趣旨了承
陳情	改正貸金業法の完全施行等に関する意見書の提出を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情	議案第65号（浄化センター工事委託協定の変更）の否決を求める陳情	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	みなし採択

○は賛成 ×は反対 ◎提案説明者 議長に表決権はありませんが、可否同数の時のみ議長が決めます。
「除斥」とは審議の公正を期すために利害関係を有する議員は、当該事件の審議に参加することができないとする制度です。
「みなし採択」とは、陳情と同一趣旨の議案が議決された場合に、当該陳情について同様の議決がなされたものとみなすことをいいます。
「議決不要」とは、目的等を同じくする複数の議案が同一会期中に審議される場合、そのうちのひとつについて議決があったときは、他の議案について議決しないものとして取り扱うことをいいます。

こんなことが 決まりました



◎葉山町情報公開条例

全会一致で修正可決しました。

◎安全で快適な葉山海水浴場の確保に関する条例

全会一致で可決しました。

◎葉山町行政組織条例の一部を改正する条例

全会一致で可決しました。

◎葉山町非常勤特別職の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

賛成少数で否決しました。

◎葉山町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

賛成多数で可決しました。

◎工事委託協定の変更について (葉山浄化センター建設工事)

賛成少数で否決しました。

◎教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例及び葉山町特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例

全会一致で可決しました。

◎葉山町議会議員定数条例の一部を改正する条例(定数3人減)

賛成多数で可決しました。

◎葉山町議会議員定数条例の一部を改正する条例(定数1人減)

議決不要となりました。
議決不要については9ページを参照してください。

議員定数を3人削減する一部改正条例が可決されたことに伴い、平成23年4月の一般選挙から、議員定数が14人となります。

地方自治法第99条の規定により意見書を提出しました

◎紙面の都合上、内容は要約させていただいております。

公有水面の埋立て免許命令書に記載の条件を遵守し、防波堤の補修を直ちに履行するよう免許を受けた業者に対し強く指導することを求める意見書

芝崎防波堤は、平成21年10月の台風で、甚大な破損被害が生じた。公有水面埋立て免許命令書には、「葉山町に帰属した公共施設のうち、護岸の維持修繕は免許を受けた者の責任と負担においてしなければならない」と記載されているが、未だ修繕や補修はされていない。住民の生命と財産を守るため、免許を受けた事業者に免許命令書を遵守し、直ちに修繕・補修をするよう免許した県が強く指導することを要望する。

提出先 神奈川県知事

改正貸金業法の完全施行等に関する意見書

バブル崩壊以降、貸金業者が不十分な規制の下で大幅に貸付を伸ばした結果、自殺者や自己破産者の増加等、多重債務問題が深刻化した。平成18年12月に多重債務問題解決の為、出資法の上限金利引き下げ、総量規制などを含む改正貸金業法が成立し、平成22年6月までに完全施行が予定され、政府は多重債務者対策本部の設置、多重債務問題改善プログラムの策定等の対策に取り組み、着実に効果を上げている。一方で、資金調達が制限された中小企業者の倒産の増加などで、完全施行延期や規制緩和が求められるが、多重債務者や自己破産者の急増を招きかねない。

次の事項について早急に政府に実現するよう強く要望する。

- 1 改正貸金業法を平成22年6月に完全施行すること。
- 2 自治体での多重債務相談体制の整備の相談員の人件費を含む予算を十分確保するなど相談窓口の拡充を支援すること。
- 3 個人・中小事業者向けのセーフティネット貸付を充実させること。
- 4 ヤミ金融を徹底的に摘発すること。
- 5 上限金利のさらなる引き下げを一考されたい。

提出先 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・
法務大臣・金融担当大臣・消費者庁担当大臣

みなさんからの 請願・陳情・要望のゆくえ

◎葉山町議会議員の定数削減を求める請願	採 択
◎ごみ処理広域化を葉山町として直ちに実施することを求める請願書	不 採 択
◎国民健康保険料の見直しを求める請願	採 択
◎2市1町ごみ処理広域化と自区内処理の事業計画との比較を早急に町民に説明することを求める陳情書	採 択
◎「芝崎町内会共同浄化槽跡地を整備し公園に」に関する陳情書	審議未了
◎重度障害者医療費助成制度の充実を求める陳情書	趣旨了承
◎「芝崎の防波堤強化」に関する陳情書	趣旨了承
◎新型インフルエンザ対策ならびに助成等の支援に関する陳情書	趣旨了承
◎平成22年度における重度障害者医療費助成制度継続の陳情	趣旨了承
◎し尿等下水道投入施設の再検討を求める陳情	取 下 げ
◎改正貸金業法の完全施行等に関する意見書の提出を求める陳情	採 択
◎議案第65号（浄化センター工事委託協定の変更）の否決を求める陳情	みなし採択
◎「町財政におけるごみ処理経費と施設の問題」をテーマとした町民との意見交換会開催のお願い	机上配布

◆◆◆なお継続して審査します◆◆◆

- ◎ごみの発生抑制、減量化、資源化を進める施策として「葉山町ゼロ・ウェイスト計画」の実施とその実施宣言を求める陳情
- ◎し尿等希釈投入施設建設計画の再検討を求める陳情
- ◎葉山町ごみ焼却炉のダイオキシン測定に関する陳情書

委員会 レポート

委員長の提出原稿を基に編集しています

総務建設

葉山町情報公開条例

条例の要旨は、町が保有する行政情報について広く公開し、町の説明責任を果たすことで、町民等との信頼関係を構築するとともに、町民の町政への参画を促進するため、平成11年4月に施行された葉山町公文書公開条例を廃止して、新たに制定するものです。

条例の要旨は、社会経済情勢や町の財政状況を踏まえ、町長、副町長及び教育長の給料を平成22年度に限り、10%削減しようとするものです。

審査では、目的規定から「町民の知る権利」を削除したことへの疑義・反対、公開請求に対する決定の期限のさらなる短縮、出資団体等の情報公開の推進に係る条例内容

審査は、職員労働組合との交渉過程を踏まえた質疑や、「町長は本会議で地域手当の見直しを答弁している以上、自ら削減して提案すべきである」などの意見がありました。が、厳しい町財政状況を考慮し、自ら提案してきたことを尊重する意見が

の不明確さなどを指摘する意見がありました。本案に対しては委員5人から修正案が提出され、採決の結果、修正案を全会一致により可決すべきものと決しました。

本案に対しては、委員2人から修正案が提出されましたが、採決の結果、修正案は賛成少数により否決され、原案を賛成多数により可決すべきものと決しました。

安全で快適な葉山海水浴場の確保に関する条例

条例の要旨は、海の家の騒音、ごみ問題等、海水浴場開設期間中に発生する諸問題に対応するため、事業者、利用者及び町の責務を明らかにし、安全で快適な海水浴場と近隣住民の平穏な生活の確保を図ろうとするものです。

教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例及び葉山町特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例

大勢を占め、採決の結果、全会一致により原案のとおり可決すべきものと決しました。

葉山町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

同条例は、町長及び教育長の給与削減と同様の理由により、平成22年度に限り、部長職は5%、課長職は4%、課長代理職は3%、給与を削減しようとするものです。

審査では、給与削減、

職員削減の流れの中で安易にその流れに乗ることは、デフレスパイラルを

加速し、経済状況の改善

にならない。町長給与を

さらに削減するべきところを合意形成が不足のま

ま管理職職員に転嫁して

いるなどの意見がある一

方、社会経済状況や町財

政状況を考慮すればやむ

を得ないとの意見があり、

採決の結果、賛成多数に

より原案のとおり可決す

べきものと決しました。

審査では、町に全責任

町道の廃止について

一色字平の越地区内の町道506号線及び一色字滝の上地区内の町道519号線について、現況道路として存在してないので、一般の用に供する必要があるため、廃止するというものです。

審査では、議案と同様の形態である道路については、今後、適宜、機会を捉え積極的に整理していく必要があるとの指摘がありました。

採決の結果、全会一致により原案のとおり可決すべきものと決しました。

「芝崎の防波堤強化」に関する陳情書

陳情の要旨は、越波に

よる被害も多発するよう

になり、防波堤としての

機能が不十分な状況とな

っているため、越波、津

波、耐震性など防波堤と

しての機能を検証し、必

要な対策を講じるよう求

めているものです。

審査では、町に全責任

があるように解釈できる



芝崎の防波堤

教育民生

議案第65号 工事委託

協定の変更について

20年7月に議決を経た、公共下水道浄化センターの建設工事委託に関する協定の一部、委託協定金額6億5千万円を6億4千455万円に改めるものです。入札差金が出たため、国庫補助対象とな

る第3系列の汚水調整池、反応タンク、最終沈殿池の防食工事と第4系列の調整池に攪拌機を設置するものです。

委員長 伊藤友子

賛否の態度を変更するとした委員もありました。

「議案第65号 工事委託協定の変更について否決を求める陳情」が出ており、一括して審査しましたが、委員会で議案が可決されたことにより、「陳情」は委員会として「みなし不採択」としました。

本会議では町長の陳謝を不満として、委員会での態度を変え、議案の否決にまわり、賛成多数で否決しました。

したがって「陳情」は、逆に「みなし採択」となりました。

改正貸金業法の完全実施等に関する意見書提出を求める陳情

新型インフルエンザ対策並びに助成等の支援に関する陳情

新型インフルエンザワクチン、季節性インフル

エンザワクチン、肺炎球菌ワクチン等の接種に對

し、多額の費用が強いられるので、町に助成を求

めているものです。

町では、新型インフル

ミ金融摘発等、国に意見

陳謝の内容によつては、

エンザワクチン接種費用は1回3600円の自己負担で、ただし、生活保護受給者、町民税非課税世帯は全額免除。季節性インフルエンザは、65歳以上対象に、一部公費負担し、自己負担1500円で接種でき、生活保護受給者は全額免除となっています。肺炎球菌ワクチンは補助はない。

委員会として、すでに一部負担を実施しており、願意の一部は達成しているが、願意は理解できるとして全会一致で趣旨了承しました。

委員会として、すでに一部負担を実施しており、願意の一部は達成しているが、願意は理解できるとして全会一致で趣旨了承しました。

町では、新型インフル

ミ金融摘発等、国に意見

陳謝の内容によつては、

エンザワクチン接種費用は1回3600円の自己負担で、ただし、生活保護受給者、町民税非課税世帯は全額免除。季節性インフルエンザは、65歳以上対象に、一部公費負担し、自己負担1500円で接種でき、生活保護受給者は全額免除となっ

ています。肺炎球菌ワクチンは補助はない。

委員会として、すでに一部負担を実施しており、願意の一部は達成しているが、願意は理解できるとして全会一致で趣旨了承しました。

町では、新型インフル

ミ金融摘発等、国に意見

書提出を求めているものです。

審査の中で、深刻化する多重債務者の救済の意味でも、願意に賛同でき、全会一致で採択し、意見書提出すべきもの決しました。

委員長 阿部勝雄

議会運営

1月7日 平成22年度議会予算についての最終確認をおこないました。

1月23日 「議会基本条例」の説明のための意見交換会を開催しました。

2月12日 議会第1回定例会の運営について議論し、日程を2月19日から3月25日までの35日間と決定しました。

一般質問の質問順について通告順への変更要望が出され、議論しました。一致が得られず、これまでどおり議長が抽選により順番を決めることになりました。

全員協議会の公開について協議し、制限公開することによって一致をみまし

た。今後は、議長の許可で一般傍聴も認めることになります。

常任委員会及び議会運営委員会の任期を2年と定める委員会条例案の提案を確認しました。

議員が辞任等した場合の議員報酬をこれまでの月割りを、死亡時以外は日割りとする条例改正案を提案することを確認しました。

3月11日 定例会への追加議案、陳情などの取り扱いを協議しました。

1月23日に開催した意見交換会の評価及び総括が確認されました。

3月23日 当初予算が否決されたため予算内容を差し替えて提案され、本会議で審議することが決まりました。

委員長 近藤昇一

ごみ問題特別

ごみ処理広域化を葉山町として直ちに実施することを求める請願書

平成21年6月に付託され、現在係争中の訴訟代理人を招致し見解を聞くとともに、町長・担当部課長の出席を求め審査を重ねてきました。

要旨は、葉山町の廃棄物処理費が財政を圧迫しており、これを半減させることができれば、毎年数億円の予算が捻出できる。ゼロ・ウェイスト政策はごみ減量化計画にすぎず、現在の非効率・高コスト・不安定のごみ処理を解決できる政策ではない。よって、横須賀、三浦両市とまず和解し、最善のごみ処理広域化を葉山町として直ちに実施することを求めているものです。

意見としては「横須賀・三浦両市との和解を議会として認めることは裁判に不利益を与える」というものと「老朽化した現有処理施設を放置できないことは皆の認識であり、早く決着をして、今後のごみ処理の方向性について本来の議論をすべき」その他「裁判の争点は信義則違反であり、広域か単独かの結論は裁判では出ない。町として単独処理は無理である」などがありました。

採決の結果、賛成少数により、不採択すべきものと決しました。

2市1町ごみ処理広域化と自区内処理の事業計画との比較を早急に町民に説明する事を求める陳情書

平成20年12月に付託され、延べ10回の審査を重ねました。

要旨は、町長が議会意思を無視し2市1町ごみ処理広域化協議会から脱退し、自区内処理の事業計画でなく、ゼロ・ウェイスト推進の方針を出した。しかし、町民への説明は不十分であり、理解、協力は得られない。よつ

て、次の2点を求めているものです。①時期尚早なゼロ・ウェイスト宣言は行わないこと。②実行可能な具体的環境整備と経費、目標数値並びに町と町民の負担について以下3条件を比較した計画案を町民に提示、説明することを議会意思として示すこと。

議員定数及び報酬等検討特別

採決の結果、賛成多数により、採択すべきものと決しました。

委員長 金崎ひさ

1月7日 継続中であ

った「請願第21—1号葉山町議会議員の定数削減を求める陳情」の審査を続けてそれ以外は全て外部委託する。

○現在の焼却炉を補修し続けてそれ以外は全て外部委託する。

○2市1町の広域化協議会に復帰して、近隣自治体と協力して処理する。

審査の中で、趣旨了承を求める意見がありましたが、2市1町を明記している以上趣旨了承できないとのことで、採決に入りました。

意見としては「時期的にずれていることや、現時点での比較は困難であるが、町民に納得のいくよう説明することは行政

の義務である」等がありました。

今回で委員会としての討議は終結することが決定しました。

委員長 佐野司郎



青少年会館

質問

いっばん

質問者の提出原稿を基に編集しています

近藤昇一

中学校給食実施に向けた検討は 教育長 22年度中に結果をまとめたい



教育長 22年度中には結果をまとめたい。

問 中学校給食実施へ向けた検討状況を伺う。

教育長 教育委員会の学校給食に関する職員の委員とする検討委員会を発足し検討中。

問 いつまでの検討か。

町長 湘南佐島なぎさの丘シャトルバスの運営主体の京浜急行電鉄と意見交換し、現段階の結論として、町負担なしでバスを止めることは難しい。

問 想定される町負担は。

総務部長 大体300万程度ではないか。

問 今回の予算で「コミユニティーバス運行にかかわる調査研究」が新規

事業となっている。全町の交通計画を策定し、その中で長柄地域の交通問題も位置づけるべきでは。

町長 22年度の早い時期に方向性は出したい。

問 南郷中通学路の経路について遠回りしなければならぬ箇所がある。

教育長 安全のため多少遠回りでも歩いてもらう。

問 信号機を設置すれば遠回りしないですむ。解決できない問題ではない。



川久保交差点

都市経済部長 調査する。

備が必要と言ってきたが、学校施設活用を検討は。

保健福祉部長 子どもの放課後の居場所検討研究会で、ある程度の結論をみている。22年度中に試行的に行ってみたい。

問 ゼロ・ウェイスト政策は、スタートから2年が経過し、住民の理解と協力も形となって見え始め、さらなる弾みが期待される。町民の理解を得るには、町長をはじめ、全職員が各ステーション

畑中由喜子

放課後の子どもの居場所として学校施設の活用は 保健福祉部長 22年度中に試行的に行う



な整備方針は。

町長 次代を担うすべての子供たちが健やかに成長できるよう、家庭、地域社会、行政が一体となって子育ての環境整備に努めていく。

全員アルバイトにするとのことだが、疑問だ。

総務部長 さまざまな指摘があり、現状復活をするという考えでいる。

問 以前から、放課後や週末等に子供たちが安全で安心して健やかに過ごすことができる環境の整

に立つ、あるいは巡回してみる、住民の方たちと実際に言葉を交わしてみることが必要ではないか。

町長 職員ともども一体となつて、後戻りしないように着実に進める。

問 町づくりにおいて地域コミュニティとの連携は重要で、学校施設の活用も求められるが、どうか。

教育部長 重要と考える。

問 厳しい社会情勢を反映して、子育て支援に対するニーズが今までになく高まっている。基本的

中は閉館とし、指導員を

すことができる環境の整



伏見台のコミプラ施設

問 2市1町ごみ処理広域化に関する訴訟問題は、私の見解は広域化協議会規約や一部事務組合設立の覚書には解除や脱退の手続、その場合の損害賠償について具体的な立証するための証人調べ



守屋 亘弘

2市との訴訟について

町長 今後は証人調べに移行

定めが一切ないので、この裁判では負けないと考えている。現時点での本件の状況は。

町長 昨年1月29日に提起されたごみ処理広域化に関する訴訟は、去る2月18日に第6回口頭弁論が行われ、原告・被告双方がほぼ主張を終えた。今後はこれまでの主張を立証するための証人調べ

に手続が移行していく見込みだ。和解するということについて、原告の主張には理由がないという当初の私の考え方に変わりはなく、現在のところ和解が妥当な選択肢の一つ

阿部 勝雄

諮問は「コミプラの長期使用方策とすべきでは 諮問の真意はそこにある」



問 下水道審議会にコミプラを下水道に接続するかどうかを諮問するのか。

町長 大型合併浄化槽は、施設や管渠等の老朽化が進んでいる。審議会の答申等も踏まえ検討する。
問 下水道に接続すれば最終処理施設のキャパが

と考えていない。ただし証人調べ後に裁判所から和解案が出てくるのではないかと考えられる。

問 平成21年1月29日付の原告横須賀市の訴状では、同年3月4日に原告は被告の森英二町長に「2市1町ごみ処理広域化にかかわる葉山町の方針について」と題する書面を送った。これに対し町長

問題となる。十分に調査して諮問すべきだ。

町長 コミプラは利用できる限り利用する。

問 コミプラを長く使う方策を諮問すべきだ。

町長 諮問の真意はそこにある。

問 現段階の最終処理施設計画では5本だ。5本の処理施設にはトンネルを掘る必要がある。コミプラ人口と市街地調整区域人口合わせて5千8

問 景観計画の進捗は。
町長 景観法による手続は完了し、3月末に策定し公表へと進めている。
問 「研究会」を条例で位

訴 状
平成21年1月29日
横浜地方裁判所民事部 御 中
原告訴訟代理人
弁護士 土 屋 南 男
弁護士 大 友 秀 夫
〒238-8550 神奈川県横須賀市小川町11番地
原 告 横 須 賀 市
代 表 者 市 長 蒲 谷 亮 一

百人程で処理槽1本分置付け、町民の声を聞くとした点は評価する。この会は3月で任期切れ、今後に活かす考えは。
町長 参加者の経験や知識を、今後のまちづくりにも、活かしてほしい。
問 まちづくり条例との関係は。
町長 今後の自治基本条例と重複する点が多く、自治基本条例の作成状況を見てからきめたい。

伊藤友子

町長 6月議会までに議会と町民へお出ししたい ごみ処理費削減へ具体的な数値目標を示せ



して数値を出したい。

問 33年経過した焼却炉に毎年1億以上の補修費が掛かる。現状と焼却炉の今後について伺う。

問 町民1人当たりのごみ処理費用は約2万5千円で、県平均より2倍も高い。ごみ処理費削減への年度別数値目標を示せ。

町長 議会と一般町民に、次の6月議会を目指して、次の6月議会を目指している。現在ゼロ・ウェイスト政策を展開しており第1期目標年度の平成25年度末までに50%削減に取り組んでいるとこらだ。それまでは現在

の焼却炉を利用する予定。

問 外部処理による搬送費用は、長期間随意契約でコスト高だが、見直すべきではないか。

町長 随契で搬出している主な処理物は、容器包

金崎ひさ

次期立候補の有無は 町長 言及する段階にない



町独自で考えていく処理。

問 脱焼却とは。

町長 燃やすごみを発生させないということ。

問 決してゼロにはならないごみの処理方法は。

町長 町の焼却炉で燃し、ごみの半減化後、民間委託または他自治体との連携も選択肢の一つである。

問 他自治体との連携とは広域か。

町長 断定的ではない。

問 将来展望のないまま

装ブラ、焼却灰、廃ブラ等がある。22年度は金属類と廃家電の処理を見積もり合わせて業者選考予定だ。今後更に適切な処理業者選考に努めていく。

問 職員の人件費削減だが、対象が管理職以上の理由及び削減額等の根拠。

町長 本町の厳しい財政状況に対する緊急避難的対応として、課長代理以

上の管理職及び町長・教育長の給与削減に踏み切った。課長代理職以上の削減効果は1千370万円。

問 児童館の運営は。

町長 午前中は乳幼児を

持つ親子に子育て支援、午後は学童中心に異年齢交流の場として提供中だが、今後も多くの町民が、自由に安全に利用できる施設運営に努める。



ごみステーション

焼却炉に毎年1億円以上の修繕費を認めるわけにいかない。町の施策はゼロ・ウェイストのPRをしているだけなのか。

生活環境部長 各実験を生かして推進につなげる。

問 町民の協力を得るために、生ごみの減量化のデータが必要と思うが。

生活環境部長 モデル地区で組成分析をしている。

問 県下ワースト1の清

掃費の削減の方策は。

町長 処理費用の削減などに取り組む。

問 祝日収集などにかかる人件費は。

生活環境部長 2千万円。

問 ローターションの組み換え等で時間外手当の見直しができるのでは。

町長 よく精査をする。

問 障害者のグループホームに町有地の提供を。

町長 安定的、継続的な住まいのため、対応する。

トントンの建築現場



トントンの建築現場

森 勝美

緑地の葛を活用した新規産業で町おこしを 生活環境部長 今後検討課題として研究する



以外にボランティアが協力を申し出た場合は。

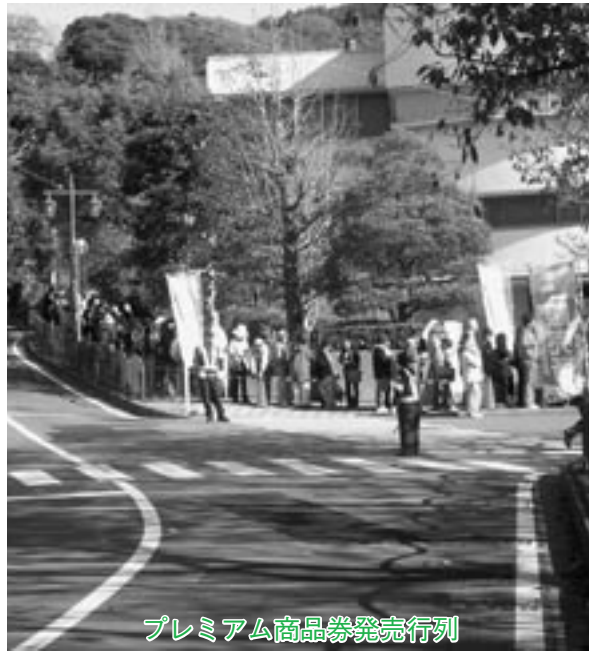
生活環境部長 そうい

問 町有竹林入口を広げ野菜売り場等に利用できないか。

生活環境部長 どういう

問 活用方法がいいか等を含め今後の課題としたい。

都市経済部長 JAの組合員は出荷できるが、生産量が少ないので町内の朝市分程度。勉強会をし



プレミアム商品券発売行列

ており今後期待できる。

問 緑地の葛や雑草を活用し新規産業で町おこしは考えられないか。

町長 葛は和紙に製品化の事例がある。葉山の特産になるか研究する。

待 寺 真 司

葉山プレミアム付商品券の実施結果は 町長 様々な面でプラスの効果があり評価する



問 葉山町第三次総合計画後期基本計画を策定するにあたり、基本構想の見直しを行うべきだし、

町長 改革を謳って町長になったのであるから、町の将来像を示す中で第四次総合計画へ移行すべきだ。

町長 基本構想自体につ

問 各種ガン検診の受診率は高く、医療費削減につながっているが乳ガン子宮頸ガンについては。

保健福祉部長 乳ガン40歳から子宮頸ガン20歳から5歳刻みで、クーポン券で無料で検診できる。

問 子宮頸ガンワクチン摂取は11歳、14歳が効果がある。学校での対応は。

教育長 早期発見の健診パンフレット配布で対応。

は不要と考える。

問 ワクチン接種は早期発見ではなく予防のため。

問 ワークライフバランスは有効に活用されているか。

総務部長 後期分を策定中、現計画は達成した。

問 自殺対策計画にプロジェクトを立ちあげたら。

保健福祉部長 講演会、

いては、自分の考えと大きな違いはないので、そこまで踏み込んでいない。

問 葉山町の将来像をどのように描いているのか。

町長 自然環境の保全を図りながら、特に教育・子育て環境の充実や、ワーキングプアの実態など把握して政策に生かしていきたい。皆が住みやすい、相互に助け合える温かい町づくりである。

問 葉山プレミアム付商

品券発行事業の実施結果と状況把握・実施効果は。

町長 商品券は完売し、使用率は99・9%で、消費拡大と販売促進が図られた。発売を機に商工会への加入が促進されたし、

商店等でも新規の固定客の確保など、非常に効果があつたと評価している。

問 その評価を今後どのように活かすかが大事だ。

二の矢を継がないように。この事はもったいない。この事

業は納税者の理解も十分得られると考えるが。

町長 葉山町のレベルで成功した実績ができたので、場合により補正もあるし、いい面を伸ばしたい。

問 中期財政見通しが議会に示される時期は。

総務部長 4月中に一定条件をつけた数値を算出し、夏以降に事業計画を盛り込んだ形で出す。二段階とご理解頂きたい。



町有竹林

土佐洋子

一番重要な政策課題は

町長 教育・子育て環境の充実とゼロ・ウェイスト



町長 今までの活動の質を落とさないと自信を持って提案したが、指摘を受け再度検討をした。

問 当初予算において児童館、青少年会館の非常勤職員をカットして、午

前中を休館にしようとしたことは、子育て環境の整備とは全く逆のことをしているのではないか。

問 年一回になるクリーン葉山の開催日程は。生活環境部長 海水浴前の5月に1度開催予定。

問 施政方針の中にある「公約実現に向けたゼロ・ウェイスト」という言い回しは、まるでゼロ・



クリーンセンター焼却炉

ウェイストが公約だったかのような言い回しでも紛らわしい。

町長 誤解を与えたことは反省する。環境に対する配慮、2市1町からの離脱という公約のために、

鈴木知一

ゼロ・ウェイストの取り組みについて伺う
町長 生ごみ自家処理の推進になお努力する

問 ゼロ・ウェイストの取り組みについて伺う。

町長 より多くの町民に生ごみ自家処理に参加してもらおう。手動式生ごみ処理機モニター実験、新たな分別と指定袋の分別体験モニター実験など、町内4自治会・町内会の

ゼロ・ウェイストを具体的に掲げたという意味。
問 三浦半島中央道路の逗子区間の早期整備についての要望は。

町長 逗子区間への延伸、関連して逗葉新道の無料化の要望を続けて出している。

問 監視員を廃止した

「天然記念物ナチュラリザープ」への対応は。適用したい。

地区単位で、ごみの減量化・資源化に協働で取り組んでいる。ゼロ・ウェイストモデル地区事業を実施し、第1期目標であるごみの50%削減への手ごたえを得た。平成23年度より実施予定の戸別収集化、指定袋制度等の導入作業を進め、さらなる生ごみ自家処理の推進に

問 どうしても自家処理ができない人にはどう対

応する。

ができません。22年度では、バグフィルター交換工事で、

教育部長 概ね21年度並みに、5月位から土、日

の大潮をねらって、教育委員会の管理職全員でパトロールと保全に努める。

問 福祉文化会館を親しみやすい愛称に変更、そ

してネーミングライツ(命名権導入)ができないか。

町長 財政上の理由もあり、ネーミングライツを

応する。

町長 一時は関心を持つ

ていただいたので、きめ

細かくアドバイスをして、

続けていくお願いをする。

問 ごみ処理施設工事修

繕について伺う。

町長 33年を経過し老朽

化が進んでいる。改良工

事や、維持管理に経費が

必要だ。さらに事業内容

を見直し、経費の節減に

努める。22年度では、バ

グフィルター交換工事で、

維持管理をして行きたい。



福祉文化会館

「議会基本条例 説明会」ご報告

議長 鈴木道子

去る1月23日午前、教育総合センターに於いて私を含め16人の議員が出席し、当説明会を開催いたしました。

当日はご多用のところ約30人の町民のみなさまにご出席いただき、主催者として厚く御礼申し上げます。

まずは各議員の紹介から始め、「議会基本条例」の制定経緯等の説明後、質疑応答を含めご意見を伺いました。主なものを列記いたします。

○条例前文について具体的にすべきである。

○条例の策定は大賛成で、全会一致によることも賛成だ。今後とも町民が何に関心を持ち、困っているのか議会も見つめて欲しい。

○全文の中段は、何をしたいのかを議会意思として表記しないと何も伝わってこない。まちづくりを議会としてリードするという根本原理をもう少し迫力を出して入れるべきだ。議会には、日本に冠たる町をつくろうと、町民と一丸となってまい進するようリードを望みたい。

○丁寧な資料を用意し、多くの町民が自由に参加できる設定を願う。

○議員に値する知識、見識が必要。質と数の検討をしてほしい。

○高い見識で町民の意見を忖度すべき。全員の合意が無いといけないというのはおかしい。

○反問権を入れるべき。今後情報開示で、このような会を行ってほしい。

私たちは今回の開催を踏まえ、より多くの方々に参加していただく

め、開催方法・周知方法・時間設定等を十分に検討して次回開催につなげたいと考えております。

今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



議会広報誌第100号発行に寄せて

委員 中村常光

私は当委員のひとりとして、議会広報誌創刊号発行当時の事情を知るひとりでもあります。

私にとり議会広報活動には大変愛着もあり、今更には思い出すまに一文を物しました。

ご一読ください。

昭和59年4月、議会活動の全てを町民の方々にお知らせし、町政参加の糸口にとの気運が高まり議会内に「議会だより発行研究委員会」が発足しました。

昭 和59年4月、議会活動の全てを町民の方々にお知らせし、町政参加の糸口にとの気運が高まり議会内に「議会だより発行研究委員会」が発足しました。

会の多くは、議会事務局職員が中心になり当該編集作業等を行っています。が、私たちは一貫して議員同士が主体となり、これらの作業をこなしてきているということです。

そして約1年間調査研究の結果、昭和60年8月1日「葉山のぎかい」創刊号を発行したので。今回本号発行を迎え、この間に変わったことはまず第88号までの表題が「葉山のぎかい」でしたが第89号から葉山町「議会だより」となったことです。

現在「議会だより」の編集作業では、各委員は力を合わせ、毎号々々まず表紙の写真の選択から始まり、記載内容等みなさんにより読み易いように工夫をこらしているところですが、当議会の広報誌の創刊号以来不変の姿があります。

これから私たち編集委員一同、より早く正確に、また親しみ易いものができるよう努めてまいりたいと考えております。どうか引き続きご愛読のほど、並びに感想・ご意見等をお寄せくだされば、まことに幸いです。

4月14日 記

即ち、他地方自治体議



昭和60年8月1日発行の創刊号

表紙説明

気店による地元物産市も賑わった。

葉山みなとまつり2010「第3回葉山くるる」が4月11日(日)葉山港を中心に開催された。

イベントは葉山御前太鼓、海上自衛隊音楽隊等の演奏、海辺でくたく散歩、帆船や遊覧船の体験乗船などなど。葉山マーケット日曜朝市でおなじみの人



平成22年 第2回定例会は
6月9日(水)
からの予定です。

皆様の傍聴をお待ちしています。

<http://www.town.hayama.lg.jp/gikai>

人事異動が
ありました

新議会議務局主事



山崎 大輔
(前環境課主事補)
よろしく申し上げます。

前議会議務局長補佐



高橋 孝行
(定年退職)
お世話になりました。

議会交際費支出状況

(平成21年10月～22年3月)

平成21年度下半期支出総額は203,349円です。内訳は次のとおりです。(詳しくは議会ホームページをご覧ください。)

種 別	件 数	金額(円)
慶 弔 費	3	30,500
会 費	12	58,500
賞 品 代	2	10,773
謝 礼	2	21,800
寸志(祝金)	7	57,576
そ の 他	2	24,200
合 計	28	203,349



今、我々は時代の大転換期に遭遇している。政権交代が実現し野党となった自民党は重鎮議員の離反で危機的状況である。この脆い政治体質が100年に一度の不況から国民生活を救出できなかったと考えられる。オバマ大統領は昨年4月「核なき世界」を目指すとした。そしてこの4月8日ロシアの大統領と核軍縮条約に署名した。唯一の被爆国として関心が高いが0には程遠いようだ。その一方で日本の基

地の強化をしている。戦後65年、沖縄県民だけでなく多くの国民の願いである普天間基地の返還、日米地位協定の見直し等、人道的立場で考えて欲しい。ノーベル平和賞は重宝だ。スペースシャトルが打上げられ国際宇宙ステーションに日本で2人の女性飛行士を含め4人の女性飛行士が史上初、同時に滞在している。凄じい。地球温暖化対策は選択から解決のための実践の段階といわれている。樹齢80年の町のシンボル、ヒマラヤ杉が倒れたのも気象変動による想定外の強風のせいとも言える。人的被害なく幸いである。

国で初めての条例である。スーパージョーも早速対応している。

4月12日記 森 勝美

議長 鈴木道子
議会広報特別委員会

守屋亘弘 鈴木知一
阿部勝雄 土佐洋子
森 勝美 待寺真司
加藤 清 中村常光